

## 一般財団法人いばらき盲導犬協会 令和2年度事業報告書

### 1. 訓練業務／認定業務

以下の業務は、本法人の本来の業務（盲導犬育成）としておこなったものである。

#### 1.1 候補犬の繁殖・譲受等

2回の出産（4月／2月）があり、合計で12頭の仔犬が誕生した。うち9頭を本法人の候補犬として確保した（2回とも他団体との合同繁殖）。その他、他団体より1頭の成犬を譲受した。

#### 1.2 研修会・訪問指導

仔犬飼育ボランティアを対象とした合同研修会「しつけ教室」は、コロナ禍のため回数を減らした（3回）。代わりに各家庭を頻回に訪問して個別の指導をおこなった。

#### 1.3 犬の訓練（基本訓練、誘導訓練）及び飼育（通院等の健康管理を含む）

8頭の犬に対して、盲導犬の訓練犬としての飼育、及び訓練をおこなった。そのうち1頭を盲導犬として認定、6頭をキャリアチェンジ犬とした（4頭を譲渡、2頭を広報犬として確保）。残りの1頭については引き続き次年度に訓練をおこなう。

#### 1.4 フォローアップ

盲導犬使用者全員に対して現地での定期フォローアップをおこなった（4頭に対し合計6回）。

#### 1.5 共同訓練・認定

視覚障害者1名について共同訓練をおこない、1頭を盲導犬として認定した（長野県令和2年度身体障がい者補助犬給付事業）。

#### 1.6 ドッグコート製作

外部の方々から製作費のご協力を募り（スポンサー）、屋外で周囲から一目で盲導犬の訓練中であることを認識してもらうためのドッグコート（仔犬用17枚／成犬用10枚）を製作した。

一覧：保有犬の訓練／新規獲得の状況（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

訓練した犬			新規獲得（繁殖）
8			9
盲導犬認定	進路変更	訓練継続	新規獲得（譲受）
1	6	1	1

一覧：保有犬の状況（令和3年3月31日現在）

盲導犬	訓練犬	繁殖犬	広報犬	仔犬	合計
4	1	2	3	9	19

## 2. 広報啓発業務

以下の業務は、日本における盲導犬育成事業全般、ならびに本法人の盲導犬育成事業に対して社会の理解を求める目的でおこなったものである。

### 2.1 学習会・見学会の開催

一般の希望者を募り、定期的に施設内で学習会・見学会を開催した。臨時の学習会を含め 11 回の開催となった。開催にあたっては参加人数を制限し、コロナウイルスの感染拡大防止に配慮した。主な参加者は次のようであった：一般希望者（主に家族での参加）

### 2.2 出張講話・デモンストレーション

視覚障害と盲導犬についての講話（一部、実演を含む）を、依頼を受けて 6 回おこなった（社会福祉協議会、高等学校、動物専門学校、ひたちなか市立小学校 3 校）。講話の主な対象者は次のようであった：専門学校の学生、小学生、中学生、高校生、父兄、教員、社会福祉協議会

### 2.3 イベント参加

企業や団体が開催するイベントに職員、役員、広報犬が参加し、広報啓発活動を展開した（4 回；コロナウイルスの影響により、参加が予定されていたイベントが軒並み中止となった）。主な参加先は次のようである：県内の公益社団法人や企業が主催する地域のイベント

### 2.4 イベントの開催

本法人が主体となり、視覚障害と盲導犬に関する啓発を主たる目的としたイベントを次のように開催した。

#### 2.4.1 盲導犬写真パネル展（令和 2 年 6 月 22 日～26 日；12 月 10 日～15 日／対象：1000 人）

ひたちなか市障害福祉課の協力のもと、ひたちなか市役所にて「盲導犬の一生」や「盲導犬の訓練」をテーマとした写真パネルの展示をおこない、市職員や来所者の方々に盲導犬育成事業について関心を持ってもらえるよう努めた。

#### 2.4.2 盲導犬写真パネル展（令和 2 年 7 月 23 日～28 日／対象：3000 人）

株式会社水戸京成百貨店の協力のもと、同百貨店の催事場に盲導犬に関する写真（撮影：小沼渉氏）を大判パネルで展示し、来店者の方々に盲導犬育成事業に関心を持ってもらえるよう務めた。

### 2.5 支援団体との共同活動

ローリー基金（本法人の支援ボランティアグループ）、特定非営利活動法人チーム・ユーチャリス様、東海ライオンズクラブ様の活動へ職員、役員、広報犬を派遣し、共同で盲導犬普及啓発活動をおこなった。

## 2.6 資料配布

上述した機会において、日本の盲導犬育成事業全般、ならびに本法人の盲導犬育成事業の概要をまとめた資料「配布用資料」（年度内 3000 部増刷）、並びに「協会だよりミニ」（令和 3 年 2 月発行；2000 部印刷）を配布し、盲導犬育成事業への社会の理解がより深まるよう務めた。

## 3. 財源強化充実のための取り組み

広報活動を通じて個人、団体、企業へ支援の働きかけをおこなう他、安定した運営資金を確保するため街頭募金活動を頻回におこなうように努め、あわせて新規の募金活動場所の開拓をおこなった。結果、上述した広報啓発活動の機会におこなった募金活動も含め、合計で 204 回となった。

## 4. 寄附金の使途報告

ここでは令和 2 年度の寄付金・助成金のうち、具体的な使途の報告が条件であった寄附金・助成金について、その金額と使途について報告する。

- ・ かすみがうらマラソン大会実行委員会からの寄附金（505,000 円）

使途：保有犬のための医療費（狂犬病予防接種含む）231,341 円、本年度 1 回目の出産に必要な諸経費（ブリーディング・ウォーカー様宅への交通費、必要物品や療養食等の購入費）112,101 円、本年度 2 回目の出産に必要な諸経費（ブリーディング・ウォーカー様宅への交通費、必要物品や療養食等の購入費）65,107 円、3 組の盲導犬とユーザーのフォローアップに必要な諸経費 47,578 円、盲導犬普及啓発活動のための印刷物制作費 46,743 円、盲導犬訓練犬用のドッグコート 1 着分の制作費 4,170 円、合計 507,040 円の大部分に充当した。なお、当該のドッグコートには、かすみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソンのロゴを印刷した。

## 5. その他

### 5.1 理事会・評議員会の開催

理事会		評議員会	
第 1 回	令和 2 年 5 月 26 日（火）	定時	令和 2 年 5 月 26 日（火）
第 2 回	令和 3 年 3 月 19 日（金）		
場所：以上、全て本法人の主たる事務所にて開催			

## 5.2 人事・陣容

### 5.2.1 役員・評議員改選（令和2年5月26日）

退任：島田外博（評議員）／就任：加藤明博（評議員）、清水立雄（理事）／重任：他全員

### 5.2.2 研修生

1名の訓練士研修生が一身上の都合により退職。インターネット上で研修生の募集をおこない、複数人に対し面談をおこなった（採用なし）。

### 5.3 インターンシップの受け入れ

近隣の高等学校より2名のインターンシップ（職場体験）を受け入れた（2日間）。

### 5.4 行政の進めるバリアフリー政策への協力

水戸市新市民会館整備課の皆様と新市民会館に設置する身体障害者補助犬／ユーザー用のトイレについて意見交換をおこなった。

### 5.5 他団体主催の行事等への参加（広報啓発業務以外）

毎年度、助成金、目録等の受け取りや自己紹介、挨拶をおこなう目的で、他団体の主催する行事に職員や役員、広報犬が参加するが、本年度はコロナウイルスの影響により1回となった。

### 5.6 附属明細書

本報告書に補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は作成しない。

以上、令和3年6月8日、令和3年度第1回理事会にて承認、同日、定時評議員会に報告